

第 116 号	<div style="text-align: center;">  </div>	<div style="text-align: center;">  </div>
発行日 2026. 1. 2		

J R 東労組バス関東本部

J R 東労組ホームページ

申 2 号 第 3 回団体交渉⑦

23. 車両管理や車両運用の作成方法を明らかにすること。また、車検切れ等の法令違反が発生しない体制とすること。

回答) 車両管理は高速バス統括本部車両整備ユニットが行う。車両運用については整備管理者ならびに運行管理者とが連携し、車検切れ等が発生さない体制を構築していく考えである。

24. 路上故障や事故等の異常時対応について明らかにすること。

回答) 異常事態の発生時においては、その規模や発生場所等によって、その都度もっとも最適と考えられるリソースの配分をしていくことが求められ、内容によってはベースを含む高速バス統括本部全体、あるいは本社や他支店もをはじめ全社的に取り組むべきものであり、この基本方針は従前と変わるものではない。

25. 遺失物の対応方法について明らかにすること。また、各ベースにおいて保管期限を過ぎた遺失物の警察への届け出方法について明らかにすること。

回答) 遺失物の対応については、当初より遺失物の取り扱いを行っていない新城ベースを除き、遺失物を拾得した社員が、貸与したモバイル端末の LINE WORKS から高速バス統括本部に報告の上、拾得物はバス便で高速バス統括本部に送付する取り扱いを行っている。保管及び警察への届け出についても、高速バス統括本部で実施する。

26. 全社員への説明が不足していることから、全社員に対して説明会を丁寧に行うこと。

回答) 既にベース化された支店の社員へは丁寧に説明を行ってきたところである。2 月に予定されている水戸支店についても同様の考えである。今後もモバイル端末の LINE WORKS アプリ等を活用した資料共有を含め、丁寧な説明を行っていく考えである。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！